

戦争を知らない世代にも平和の尊さが伝わる企画展です。

平和を願う

# 戦争映画資料展

日時 / 2018年7月11日(水) ~ 10月14日(日) 9:00 ~ 17:00 月曜日休館

会場 / **松永文庫** (旧大連航路上屋内)  
門司区西海岸1丁目3-5

入場  
無料



お問い合わせ /

**松永文庫**

TEL 093-331-8013

E-mail: [matsunaga.bunko@gmail.com](mailto:matsunaga.bunko@gmail.com)

主 催 / 松永文庫(レトロの街の映画・芸能資料館)

# 平和を願う 戦争映画資料展

入場無料

展示資料：約150点 ポスター展示リスト(抜粋)

- 1953年 「憲兵」 新東宝
- 1957年 「遠い道」 ドイツ・イタリア
- 1960年 「独立愚連隊西へ」 東宝
- 1961年 「人間の条件」 松竹
- 1965年 「バルジ大作戦」 アメリカ
- 1966年 「ゼロ・ファイター 大空戦」 東宝
- 1969年 「影の軍隊」 フランス
- 1970年 「トラ・トラ・トラ！」 アメリカ
- 1970年 「軍閥」 東宝
- 1970年 「総進撃」 イタリア・ユーゴスラビア
- 1971年 「激動の昭和史 沖縄決戦」 東宝
- 1972年 「軍旗はためく下に」 東宝
- 1974年 「ルバング島の奇跡 陸軍中野学校」 東映
- 1974年 「あした輝く」 松竹
- 1980年 「二百三高地」 東映
- 1982年 「日本海大海戦 海ゆかば」 東映
- 1988年 「アナザーウェイ D機関情報」 日本・スイス
- 2005年 「ローレライ」 東宝

## 「戦争映画資料展」によせて

大衆の娯楽であった映画が、どのようにして戦争に束縛され、利用されていったのか。

人間が犯す最大の愚行、戦争。

原爆に象徴され、人々の心の中まで深く傷つける野蛮な戦争を、戦後、どのような反省と自戒を込めて描き続けているであろうか。

松永文庫は、今後もこの視点をテーマに据えて、毎年「戦争映画資料展」を開催したいと考えています。それは、この場所が沢山の兵隊や、軍馬などが、愛する祖国、最愛の家族の幸せを願って出征した歴史を含んだ建物であるからです。



## ■イベント情報 マンスリーシアター

会場：旧大連航路上屋 2階ホール

無料

**8/26日** 上映時間 14:00~16:00

「永遠の人」1961年 松竹

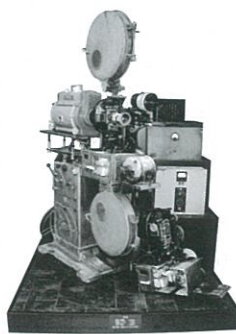
監督：木下恵介 出演：高峰秀子 佐田啓二 ほか

## 松永文庫について

松永文庫は、1997年(平成9年)10月、松永武(門司区長谷)が、映画研究のためおよそ60年にわたって収集した映画・芸能関連の資料を、自宅を開放して無料公開し誕生しました。2009年(平成21年)11月、これらの資料すべてを北九州市に寄贈。

北九州市の文化施設として、門司市民会館(門司区老松町)で無料一般公開されました。以来、テーマを決めて館内・館外企画展を開催し、県内外から訪れる多くの来館者に映画文化を紹介しています。

2013年(平成25年)7月、旧大連航路上屋グランドオープンに伴い、この地で松永文庫の資料展示を始めました。2016年(平成28年)5月、日本映画批評家大賞受賞。



新聞記事は生きている。だから生かし続けたい。  
松永文庫の特性は、映画俳優を含む芸能全般に関わる、いわゆる芸能人と称される人達の「生き方」に力点を置いて関係資料を収集し続けていることです。

レトロの街の映画・芸能資料館  
**松永文庫**

展示室(旧大連航路上屋)：北九州市門司区西海岸1-3-5  
TEL (093) 331-8013 FAX (093) 331-8012  
E-mail:matsunaga.bunko@gmail.com

